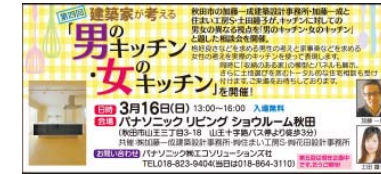


お知らせ



□第四回 建築家が考える「男のキッチン・女のキッチン」
パナソニックリビングショールーム秋田
秋田市山王 3丁目 3-18
3/16(日) 13:00～16:00 入場無料
男性の考えるキッチン・女性の考えるキッチンを、模型やパネルを使ってご紹介いたします。さらに住宅相談もお受けいたします。
キッチンやユニットバス等と合わせてご覧下さい。

当日はパナソニックショールームをお借りしますので、Pana 製キッチンを採用した住宅の部分模型も展示する予定です(製作担当 小野)。



ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者: 加藤 一成
株式会社 加藤一成建築設計事務所
仙台オフィス
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932
秋田オフィス
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316
HP: http://www.isssei-design.com/
Blog: http://www.isssei-design.com/blog/
Mail: info@isssei-design.com



手前のブロックがガレージ+作業場、奥が住宅主屋。外構は今後施工予定。



西側ファサード。エントランスは2棟の間に位置する。住宅左上部がロフト



リビングからダイニングを見る。右手にスキップフロアのフリースペース。



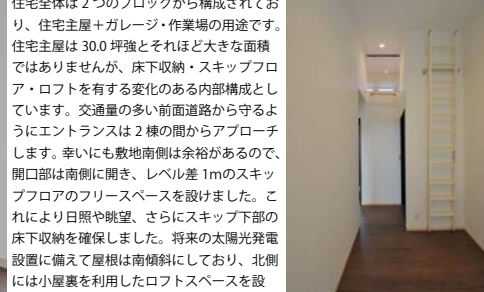
フリースペース。第2のリビングとして多用途に。



LDからスキップしたフリースペースを見る。レベル差は1mで段差部分には床下収納への扉。LDKとフリースペースは全体がリビングとしてオープンに繋がります。



由利本荘市岩城町、国道沿いに建つ住宅です。キッチンからLD方向を見る。



住宅全体は2つのブロックから構成されており、住宅主屋+ガレージ・作業場の用途です。住宅主屋は30.0坪強とそれほど大きな面積ではありませんが、床下収納・スキップフロア・ロフトを有する変化のある内部構成として見えます。交通量の多い前面道路から守るようにエントランスは2棟の間にアプローチします。幸いにも敷地南側は余裕があるので、開口部は南側に開き、レベル差1mのスキップフロアのフリースペースを設けました。これにより日照や眺望、さらにスキップ下部の床下収納を確保しました。将来の太陽光発電設置に備えて屋根は南傾斜にしており、北側には小屋裏を利用したロフトスペースを設け、多用途に使用していただけるようにしま



2階ホール。上部がロフト昇り口。2階通路から隣の入るフリースペースを見下ろす。した。

■特集 "由利本荘市 Kw-House"

>> お気に入りの雑貨

皆さんこんにちは！小野です。今回は私のお気に入りの雑貨を紹介します。あまり買い物には行かないのですが、基本は出逢った瞬間一目惚れして、即購入します。出会って大切ですね。自分が好きな物に出逢うとテンションが上がって、値段を見るのも忘れてレジを持って行ってしまいます。店員さんに言われ、初めて値段に気付いて後悔するパターンが多いです(笑)
右の写真は、アンティークのアルコールランプと輸入品のジェンガです。アルコールランプは、何故か同じ物を3つも購入してしまいました。一つがよかったですね(笑)カラーと香りの違うオイルを入れて、ディスプレイしております。もう一つはどくろのジェンガで実は、ガラスケースの方が先に一目惚れして購入しました。後は何を入れるか探して購入したのがジェンガです。順番が逆ですね(笑)ジェンガはまだ一回しか遊んでいません。取説が英語で、正しい仕様方法があまりわかりませんでした。しかも帰宅するとなんかの確率で崩れています。とてもデリケートであります。
自分の好きな物に囲まれていると幸せになりますね。とりえず部屋を整頓しつつ、雑貨屋さんみたいになりたいと思う今日この頃です。



>> 木の美

早く雪が溶けて欲しいと願う菅原です。こんにちは。今回はわざわざらしく撮ってみたいですが、杢についてお話しします。あえて目立たせたり、時には邪魔な存在だったりする杢。窓杢。建具杢。杢ひとつでデザインもかなり変わります。弊社の杢はスッキリデザインです。その秘密は細さ。杢自体の厚さは変えずに、表に見えてくる部分を細く(薄く)加工しています。これで窓や建具回りの杢をスッキリと見せています。この加工は全て大工さんが施工しています。初めて現場で見た時、細かな職人技に感動しました。壁の色と近い色に塗装することもスッキリ見せるひとつの方法です。少し細かいですが、建物を見るときに間取りや雰囲気だけでなく、杢もぜひ注目してみてくださいね！

>> 編集後記

みなさん、こんにちは。3月上旬、春らしい日が続き、今年はこのまま春になると思いきや、一転真冬に逆戻りの数日間でした。寒かったですね。
あの日から3回目の3月11日を迎えました。東北に住む私たちは、毎日何らかの形で震災に関わる状況や情報に触れ、職業柄多くの方が耐震性能や災害に強い設備に関心がある事を知ります。多くの災害が日本全国で発生し、当事者にとっては規模の大小は問題ではなく、災害に序列などないと思いますが、どの災害も風化させることなく次世代の教訓として忘れてはならないものです。
さて、2月下旬に何度か新幹線に乗る機会がありました。ここ何年かは車で移動が多く短い期間に何度か新幹線に乗るのは本当に久しぶりでした。その中の1回だけがE3系の車両でした。3月15日のダイヤ改正で秋田新幹線開業以来のE3系は全て引退し、E6系になります。E3系の以前自由席だった15号車・16号車に乗るのは狭くて嫌でしたし、E6系は速くてカッコイイけど... 17年前、1997年から子どもたちと間近で見てきた車両が無くなるのは寂しいものです。年寄りの感情ですけど(笑)また新しい車両で、新しい思い出がたくさんできるといいですね。
さすがに次回、4月10日(木)配信の頃には本当に春になって暖かくなって欲しいものです。最後までお読みいただきましてありがとうございます。それでは次回もどうぞお楽しみに。

3月中旬下旬というのに、県境の峠はまだこんな状況でした。真冬のように言うか真冬より酷い...
磨り減らしただけのスタッドレスですが、ここでは大活躍です。